
業績ハイライト

－ 2022年3月期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 2023年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2022年3月期			2021年3月期
		前年同期比	増減率	
連結経常収益	40,207	△ 3,882	△ 8.8	44,089
経常利益	4,486	6,762	-	△ 2,275
親会社株主に帰属する当期純利益	2,585	5,761	-	△ 3,176

- じもとホールディングスの連結経常収益は、前年同期比38億82百万円減少の40億207百万円となりました。
- 経常利益は、きらやか銀行における前年度の有価証券ポートフォリオの見直しに伴う損失処理がなくなったことなどにより、前年同期比67億62百万円増加の44億86百万円。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比57億61百万円増加の25億85百万円となりました。

② 2行合算

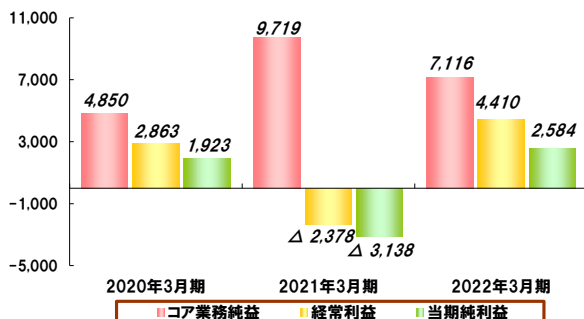
(単位:百万円、%)

	2022年3月期			2021年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	34,650	△ 4,111	△ 10.6	38,762
業務粗利益	29,300	4,069	16.1	25,230
資金利益	26,294	△ 1,477	△ 5.3	27,771
役務取引等利益	2,873	446	18.4	2,426
その他業務利益	131	5,100	-	△ 4,968
うち国債等債券損益	△ 178	7,370	-	△ 7,549
経費(除く臨時処理分)	22,362	△ 697	△ 3.0	23,060
うち人件費	10,979	△ 551	△ 4.7	11,531
うち物件費	9,544	△ 82	△ 0.8	9,627
実質業務純益(注1)	6,937	4,767	219.6	2,170
コア業務純益(注2)	7,116	△ 2,603	△ 26.7	9,719
除く投資信託解約損益	7,040	△ 421	△ 5.6	7,461
一般貸倒引当金繰入額	883	△ 406	△ 31.5	1,289
業務純益	6,054	5,173	-	880
臨時損益	△ 1,643	1,615	-	△ 3,259
うち不良債権処理額	1,598	△ 1,161	△ 42.0	2,760
うち個別貸倒引当金繰入額	1,320	△ 1,083	△ 45.0	2,404
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	198	322	-	△ 124
経常利益	4,410	6,789	-	△ 2,378
特別損益	△ 224	121	-	△ 345
当期純利益	2,584	5,722	-	△ 3,138
与信関係費用	2,465	△ 1,535	△ 38.3	4,001

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比41億11百万円減少の34億650百万円(増減率△10.6%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、前年同期比26億3百万円減少の71億16百万円(増減率△26.7%)となりました。
- 経常利益は、前年同期比67億89百万円増加の44億10百万円、当期純利益は前年同期比57億22百万円増加の25億84百万円となりました。

1. 損益の状況

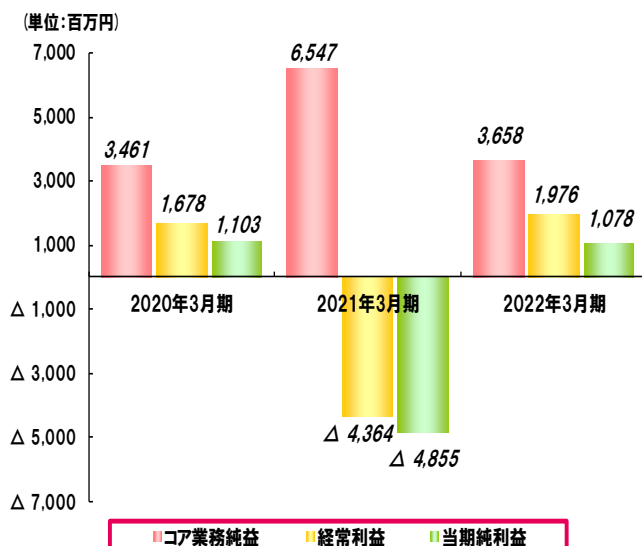
③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	2022年3月期			2021年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	18,415	△ 3,919	△ 17.5	22,335
業務粗利益	15,780	3,696	30.5	12,083
資金利益	13,355	△ 1,831	△ 12.0	15,187
うち貸出金利息	11,486	△ 825	△ 6.7	12,312
うち有価証券利息配当金	1,877	△ 1,133	△ 37.6	3,010
役務取引等利益	2,206	622	39.2	1,584
その他業務利益	217	4,905	-	△ 4,687
うち国債等債券損益	△ 16	7,178	-	△ 7,194
経費(除く臨時処理分)	12,138	△ 592	△ 4.6	12,730
うち人件費	5,956	△ 374	△ 5.9	6,330
うち物件費	5,239	△ 189	△ 3.4	5,428
実質業務純益(注1)	3,642	4,289	-	△ 647
コア業務純益(※注2)	3,658	△ 2,888	△ 44.1	6,547
(除く投資信託解約損益)	3,658	△ 719	△ 16.4	4,377
①一般貸倒引当金繰入額	1,029	201	24.3	827
業務純益	2,613	4,087	-	△ 1,474
臨時損益	△ 636	2,252	-	△ 2,889
②うち不良債権処理額	407	△ 2,008	△ 83.1	2,415
うち個別貸倒引当金繰入額	166	△ 2,098	△ 92.6	2,264
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	25	157	-	△ 132
経常利益	1,976	6,340	-	△ 4,364
特別損益	△ 128	207	-	△ 335
当期純利益	1,078	5,933	-	△ 4,855
与信関係費用	1,436	△ 1,806	△ 55.7	3,242

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益



- 経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金等の資金利益が減少したことなどから、前年同期比39億19百万円減少の184億15百万円(増減率△17.5%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、以下の前年度特殊要因から、前年同期比28億88百万円減少の36億58百万円(増減率△44.1%)となりました。
 - ① 投信解約益21億69百万円減少(有価証券ポートフォリオ見直し)
 - ② 債権売却益23億66百万円減少(住宅ローン債権の証券化)
 なお、前年度の特殊要因である投信解約益・債権売却益を除いたコア業務純益は16億46百万円増加いたしました。
- 与信関係費用は、新型コロナウイルス関連に伴う債権において、債務者区分の見直しなどによる貸倒引当金を積み増したましたが、貸倒引当金の戻入などにより、前年同期比18億6百万円減少し14億36百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比63億40百万円増加し19億76百万円、当期純利益は前年同期比59億33百万円増加し、10億78百万円となりました。

1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

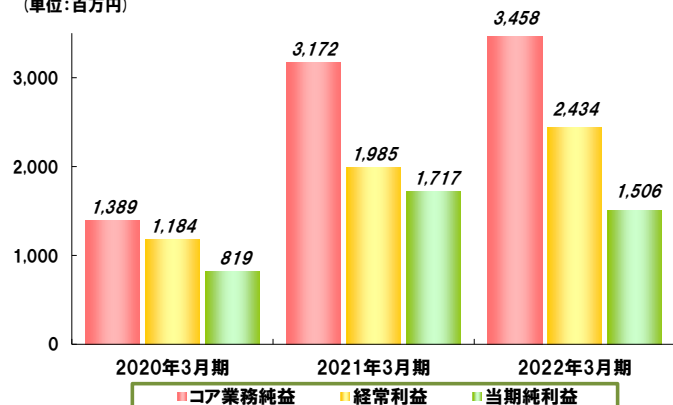
	2022年3月期		2021年3月期	
		前年同期比	増減率	
経常収益	16,235	Δ 191	Δ 1.1	16,426
業務粗利益	13,519	372	2.8	13,146
資金利益	12,938	353	2.8	12,584
うち貸出金利息	10,285	300	3.0	9,984
うち有価証券利息配当金	2,562	Δ 97	Δ 3.6	2,660
役務取引等利益	667	Δ 175	Δ 20.8	842
その他業務利益	Δ 85	194	-	Δ 280
うち国債等債券損益	Δ 162	192	-	Δ 354
経費(除く臨時処理分)	10,224	Δ 104	Δ 1.0	10,329
うち人件費	5,023	Δ 177	Δ 3.4	5,200
うち物件費	4,305	106	2.5	4,198
実質業務純益(注1)	3,295	477	16.9	2,817
コア業務純益(注2)	3,458	285	8.9	3,172
(除く投資信託解約損益)	3,382	298	9.6	3,083
①一般貸倒引当金繰入額	Δ 145	Δ 608	-	462
業務純益	3,441	1,086	46.1	2,355
臨時損益	Δ 1,007	Δ 637	-	Δ 369
②うち不良債権処理額	1,191	846	245.6	344
うち個別貸倒引当金繰入額	1,154	1,014	-	139
(貸倒償却引当費用①+②)	1,045	238	29.5	807
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	173	165	-	8
経常利益	2,434	448	22.6	1,985
特別損益	Δ 96	Δ 85	-	Δ 10
当期純利益	1,506	Δ 210	Δ 12.2	1,717

与信関係費用	1,029	270	35.6	758
--------	-------	-----	------	-----

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)

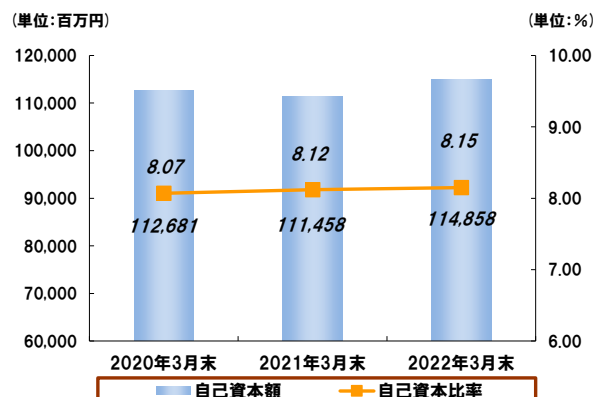


- 経常収益は、貸出金利息の増加等により資金運用収益が増加したものの、前年度の有価証券ポートフォリオのリバランスを主因とした国債等債券売却益が減少したことなどから、前年同期比1億91百万円減少の162億35百万円となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が減少したものの、貸出金利息の増加等により資金利益が増加したことに加え、経費が減少したことなどから、前年同期比2億85百万円増加の34億58百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比4億48百万円増加の24億34百万円となりましたが、法人税等が増加したことから、当期純利益は前年同期比2億10百万円減少の15億6百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



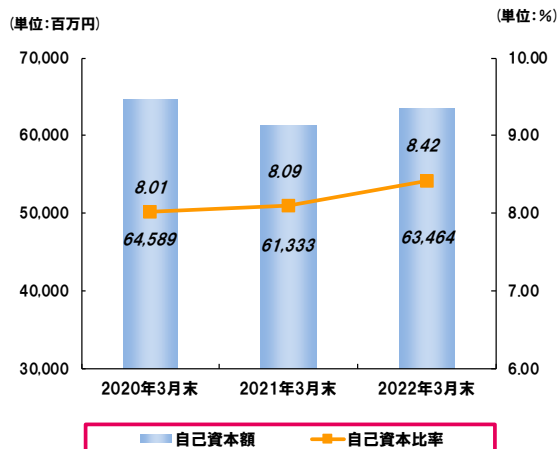
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.15%となりました。

(単位: %)

	2022年 3月末	2021年 3月末比	2021年 3月末
連結自己資本比率	8.15	0.03	8.12

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



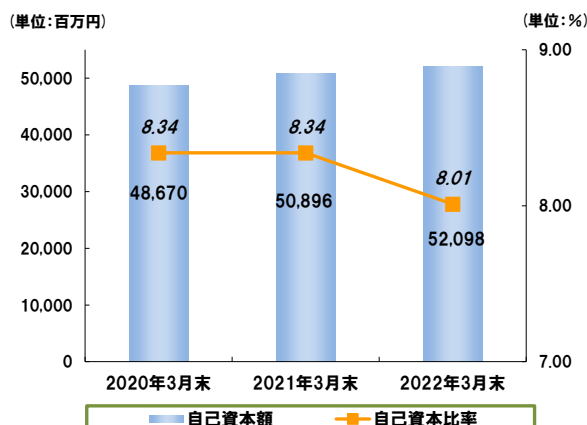
- 単体の自己資本比率は、自己資本（分子）の増加に加え、地元企業を支援するためシンジケートローン等の政策的な貸出が減少しリスクアセット（分母）が減少したことなどから、2021年3月末比0.33ポイント上昇の8.42%となりました。

(単位: %)

	2022年 3月末	2021年 3月末比	2021年 3月末
自己資本比率【単体】	8.42	0.33	8.09
自己資本比率【連結】	8.26	0.29	7.97

③ 仙台銀行

自己資本比率(単体)の推移



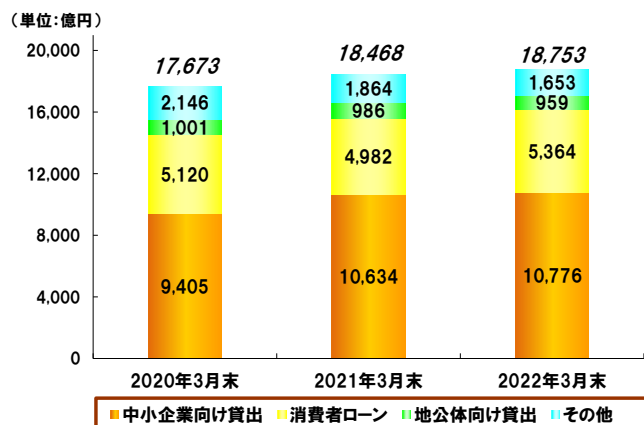
- 単体の自己資本比率は、当期純利益の計上により自己資本（分子）が増加した一方で、貸出金の増加等によりリスクアセット（分母）が増加したことから、2021年3月末比0.33ポイント低下の8.01%となりました。

(単位: %)

	2022年 3月末	2021年 3月末比	2021年 3月末
自己資本比率【単体】	8.01	Δ 0.33	8.34
自己資本比率【連結】	8.02	Δ 0.32	8.34

3. 貸出金の状況

① 2行合算

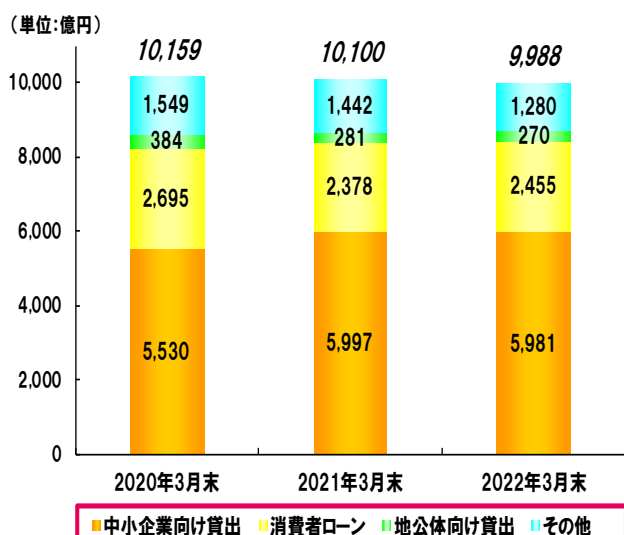


- 2行合算の貸出金残高は、2021年3月末比285億81百万円増加の1兆8,753億86百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
貸出金(末残)	1,875,386	28,581	1.5	1,846,804
うち中小企業向け貸出残高	1,077,654	14,176	1.3	1,063,478
うち消費者ローン	536,416	38,184	7.6	498,232
うち住宅ローン	496,215	39,822	8.7	456,393
うち地方公共団体向け貸出	95,973	△ 2,652	△ 2.6	98,625

② きらやか銀行



- 貸出金残高は、地元企業を支援するためシンジケート・ローン等の政策的な貸出を減少させたことなどから、2021年3月末比111億87百万円減少の9,988億37百万円となりました。

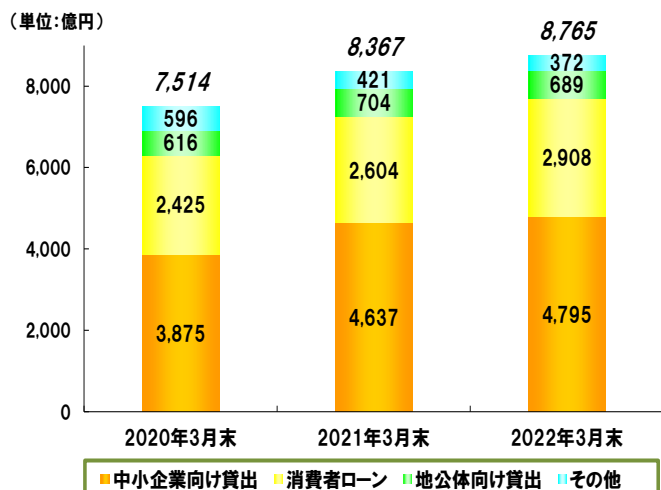
- 中小企業向け貸出は、2021年3月末比15億96百万円減少の5,981億47百万円となりました。なお、政策的な貸出を除いた地元企業に対する中小企業向け貸出は2021年3月末比26億8百万円増加いたしました。

- 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2021年3月末比77億43百万円増加の2,455億66百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
貸出金(末残)	998,837	△ 11,187	△ 1.1	1,010,025
うち中小企業向け貸出残高	598,147	△ 1,596	△ 0.2	599,743
うち消費者ローン	245,566	7,743	3.2	237,823
うち住宅ローン	230,663	8,952	4.0	221,710
うち地方公共団体向け貸出	27,048	△ 1,134	△ 4.0	28,182

③ 仙台銀行



- 貸出金残高は、2021年3月末比397億69百万円増加の8,765億48百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

- 中小企業向け貸出は、新型コロナウイルス感染症関連の資金需要へ積極的に対応したことなどから、2021年3月末比157億72百万円増加の4,795億7百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローンの増加により、2021年3月末比304億41百万円増加の2,908億50百万円となりました。

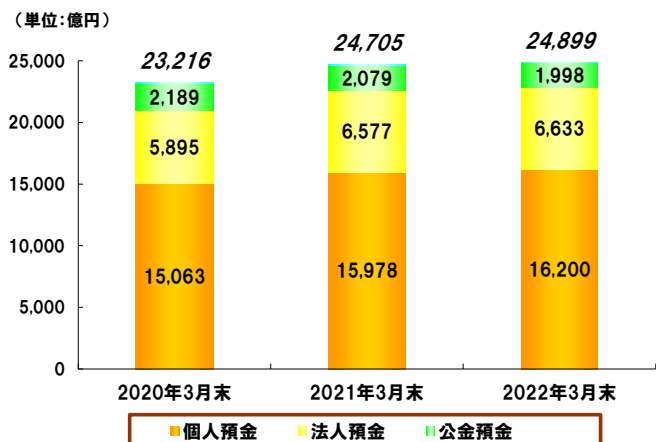
- 地方公共団体向け貸出は、2021年3月末比15億18百万円減少の689億25百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
貸出金(末残)	876,548	39,769	4.7	836,779
うち中小企業向け貸出残高	479,507	15,772	3.4	463,735
うち消費者ローン	290,850	30,441	11.6	260,409
うち住宅ローン	265,551	30,869	13.1	234,682
うち地方公共団体向け貸出	68,925	△ 1,518	△ 2.1	70,443

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

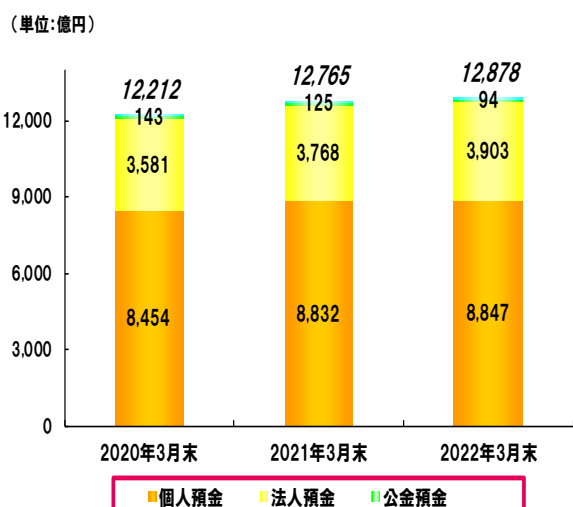


- 2行合算の預金残高は、2021年3月末比193億75百万円増加の2兆4,899億1百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,489,901	19,375	0.7	2,470,525
うち個人預金	1,620,084	22,251	1.3	1,597,833
うち法人預金	663,336	5,612	0.8	657,723
うち公金預金	199,888	△ 8,098	△ 3.8	207,987

② きらやか銀行

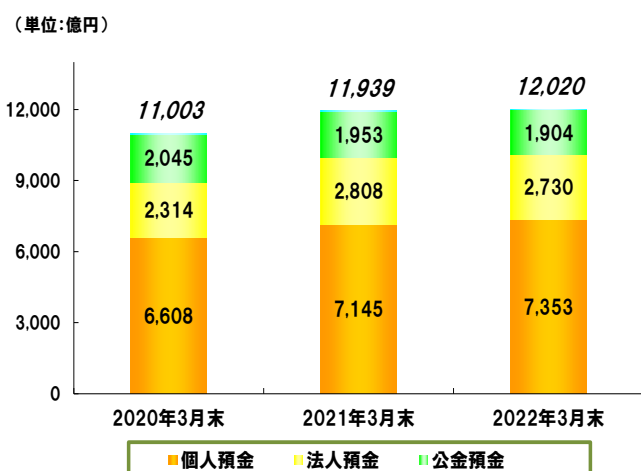


- 預金残高は、2021年3月末比112億66百万円増加の1兆2,878億24百万円となりました。
- 個人預金は、子育て世帯への臨時特別給付により流動性預金が増加したことなどから、2021年3月末比14億86百万円増加の8,847億82百万円となりました。
- 法人預金は、取引先からの資金預入により流動性預金が増加したことなどから、2021年3月末比134億18百万円増加の3,903億3百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,287,824	11,266	0.8	1,276,558
うち個人預金	884,782	1,486	0.1	883,295
うち法人預金	390,303	13,418	3.5	376,885
うち公金預金	9,467	△ 3,123	△ 24.8	12,591

③ 仙台銀行



- 預金残高は、2021年3月末比81億9百万円増加の1兆2,020億76百万円となりました。
- 個人預金は、子育て世帯への臨時特別給付金等により2021年3月末比207億64百万円増加の7,353億2百万円となりました。
- 法人預金は、コロナ関連融資の歩留まり分が運転資金として流出したことにより2021年3月末比78億5百万円減少の2,730億33百万円となりました。
- 公金預金は、2021年3月末比49億74百万円減少の1,904億21百万円となりました。

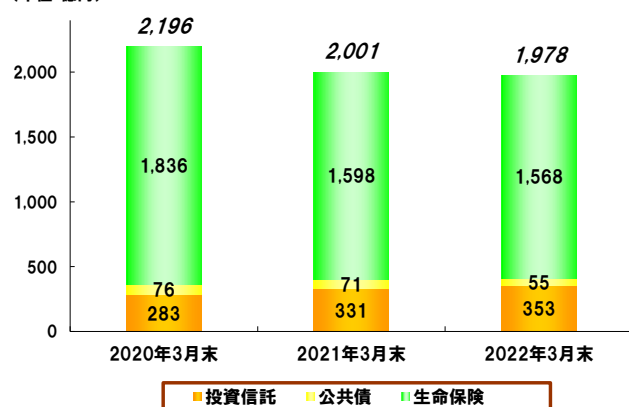
(単位: 百万円, %)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,202,076	8,109	0.6	1,193,967
うち個人預金	735,302	20,764	2.9	714,537
うち法人預金	273,033	△ 7,805	△ 2.7	280,838
うち公金預金	190,421	△ 4,974	△ 2.5	195,396

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位:億円)



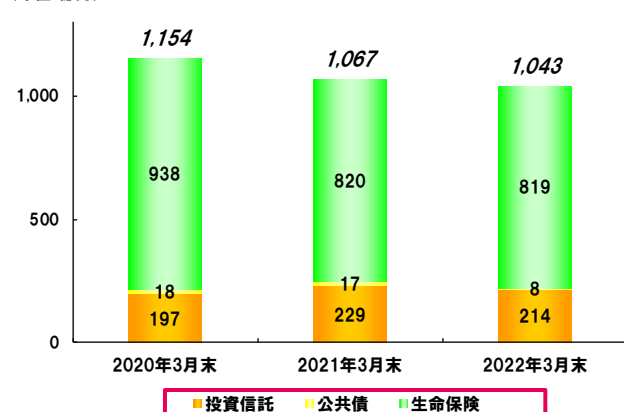
- 2行合算の預かり資産残高は、2021年3月末比22億93百万円減少の1,978億80百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
預かり資産(末残)	197,880	△ 2,293	△ 1.1	200,174
うち投資信託	35,393	2,198	6.6	33,194
うち公共債(国債等)	5,598	△ 1,526	△ 21.4	7,124
うち生命保険	156,888	△ 2,965	△ 1.8	159,854

② きらやか銀行

(単位:億円)



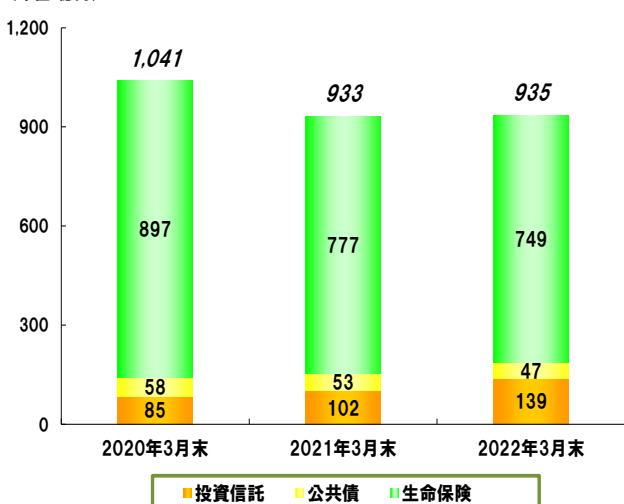
- 預かり資産残高は、2021年3月末比24億34百万円減少の1,043億47百万円となりました。
- 投資信託は、2021年3月末比14億45百万円減少の214億65百万円となりました。
- 公共債は、2021年3月末比8億94百万円減少の8億93百万円となりました。
- 生命保険は、2021年3月末比94百万円減少の819億88百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
預かり資産(末残)	104,347	△ 2,434	△ 2.2	106,782
うち投資信託	21,465	△ 1,445	△ 6.3	22,911
うち公共債(国債等)	893	△ 894	△ 50.0	1,788
うち生命保険	81,988	△ 94	△ 0.1	82,083

③ 仙台銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、2021年3月末比1億41百万円増加の935億32百万円となりました。
- 投資信託は、新ファンドの取扱い開始などお客さまの資産運用ニーズへの対応により、2021年3月末比36億44百万円増加の139億28百万円となりました。
- 公共債は、2021年3月末比6億32百万円減少の47億4百万円となりました。
- 生命保険は、2021年3月末比28億71百万円減少の749億円となりました。

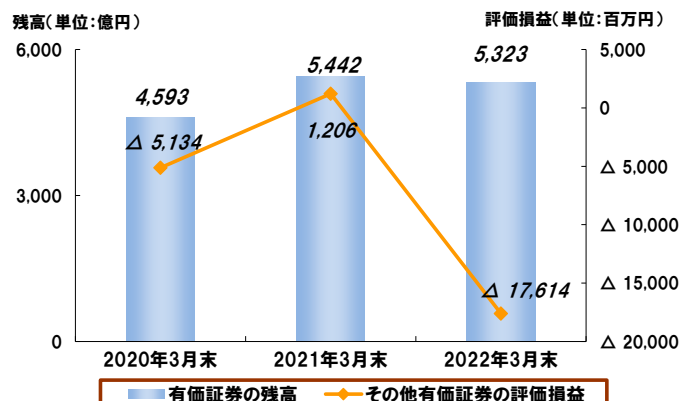
(単位:百万円、%)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
預かり資産(末残)	93,532	141	0.1	93,391
うち投資信託	13,928	3,644	35.4	10,283
うち公共債(国債等)	4,704	△ 632	△ 11.8	5,336
うち生命保険	74,900	△ 2,871	△ 3.6	77,771

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2021年3月末比118億77百万円減少の5,323億75百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2021年3月末比188億20百万円減少し、176億14百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

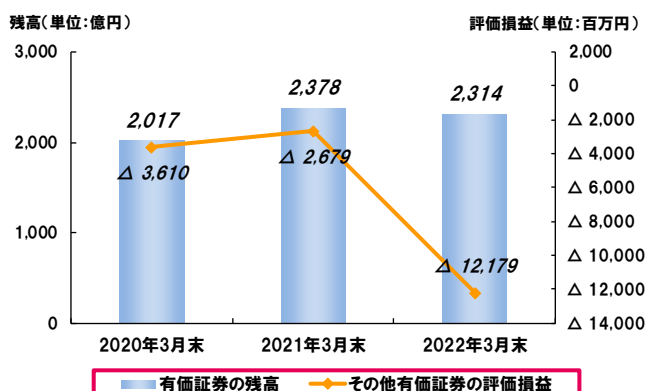
	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
有 価 証 券	532,375	△ 11,877	△ 2.1	544,252
国 債	11,777	△ 6,176	△ 34.4	17,953
地 方 債	43,660	△ 1,005	△ 2.2	44,665
社 債	72,000	△ 4,754	△ 6.1	76,755
株 式	8,152	△ 84	△ 1.0	8,236
そ の 他 証 券	396,784	144	0.0	396,640

②その他の有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	2022年3月末	2021年3月末比	2021年3月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 17,614	△ 18,820	1,206
株 式	185	△ 236	422
債 券	△ 615	△ 441	△ 173
そ の 他	△ 17,184	△ 18,141	957

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、期日償還や売却などにより国債などが減少したことから、2021年3月末比64億52百万円減少の2,314億2百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、海外金利上昇の影響等により2021年3月末比94億99百万円減少し121億79百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

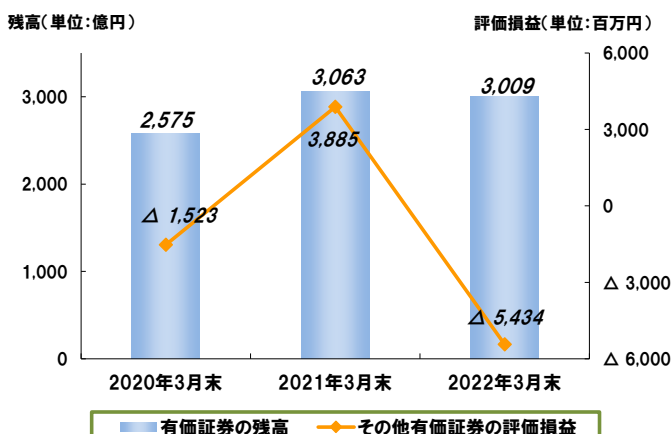
	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
有 価 証 券	231,402	△ 6,452	△ 2.7	237,854
国 債	3,006	△ 11,421	△ 79.1	14,428
地 方 債	7,786	△ 543	△ 6.5	8,330
社 債	42,760	△ 536	△ 1.2	43,297
株 式	6,417	△ 51	△ 0.8	6,469
そ の 他 証 券	171,430	6,101	3.6	165,329

②その他の有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	2022年3月末	2021年3月末比	2021年3月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 12,179	△ 9,499	△ 2,679
株 式	182	△ 30	212
債 券	△ 435	△ 297	△ 138
そ の 他	△ 11,925	△ 9,171	△ 2,754

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向を踏まえた運用により、2021年3月末比54億24百万円減少し3,009億72百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、海外金利上昇の影響等により、2021年3月末比93億20百万円減少し54億34百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

	2022年3月末	2021年3月末比	増減率	2021年3月末
有 価 証 券	300,972	△ 5,424	△ 1.7	306,397
国 債	8,771	5,245	148.7	3,525
地 方 債	35,873	△ 461	△ 1.2	36,335
社 債	29,239	△ 4,218	△ 12.6	33,458
株 式	1,734	△ 32	△ 1.8	1,767
そ の 他 証 券	225,353	△ 5,956	△ 2.5	231,310

②その他の有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

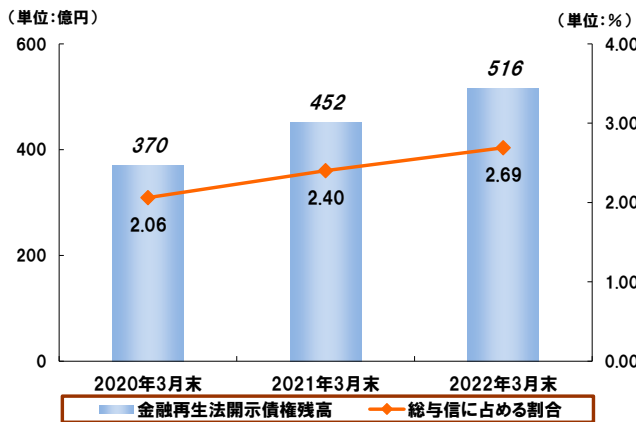
	2022年3月末	2021年3月末比	2021年3月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 5,434	△ 9,320	3,885
株 式	3	△ 205	209
債 券	△ 180	△ 144	△ 35
そ の 他	△ 5,258	△ 8,970	3,711

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2021年3月末比63億79百万円増加の516億17百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2021年3月末比0.29ポイント上昇し2.69%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

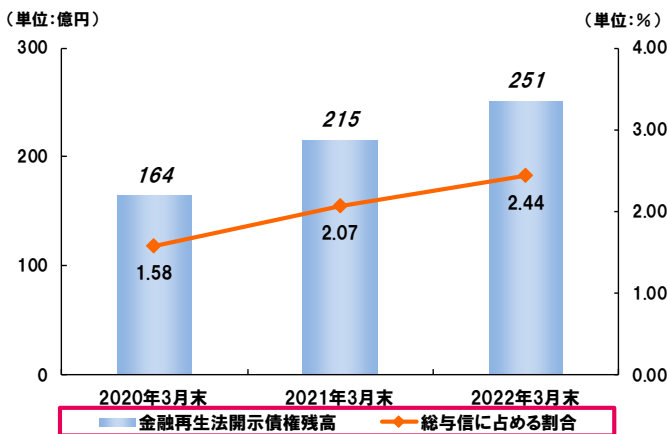
	2022年3月末	2021年3月末比	2021年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,877	△ 42	3,919
危険債権	40,044	4,669	35,374
要管理債権	7,695	1,752	5,942
合計 (A)	51,617	6,379	45,237
正常債権	1,860,147	25,572	1,834,574
総与信額 (B)	1,911,765	31,952	1,879,812
(A / B)	2.69	0.29	2.40

②金融再生法開示債権の保全状況(2022年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	賞倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,877	3,877	2,084	1,792	100.00
危険債権	40,044	32,602	27,778	4,824	81.41
要管理債権	7,695	3,611	2,160	1,451	46.93
合計	51,617	40,091	32,023	8,068	77.67

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う債務者区分の変更等から、2021年3月末比35億70百万円増加の251億12百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2021年3月末比0.37ポイント上昇し2.44%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

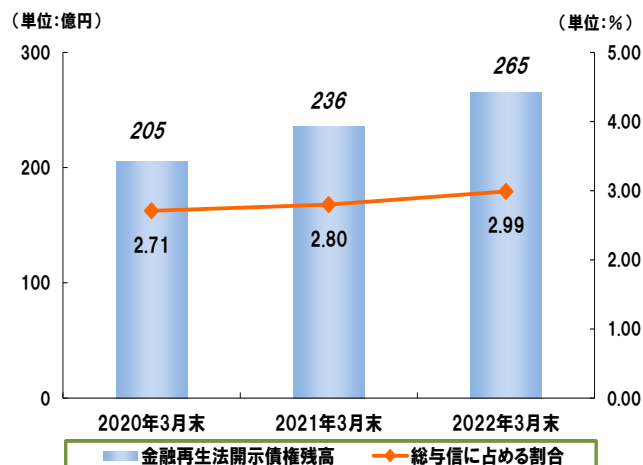
	2022年3月末	2021年3月末比	2021年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,258	△ 653	2,911
危険債権	19,074	3,166	15,907
要管理債権	3,780	1,057	2,722
合計 (A)	25,112	3,570	21,541
正常債権	1,002,259	△ 12,176	1,014,435
総与信額 (B)	1,027,372	△ 8,605	1,035,977
(A / B)	2.44	0.37	2.07

②金融再生法開示債権の保全状況(2022年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	賞倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,258	2,258	1,261	997	100.00
危険債権	19,074	12,319	11,178	1,140	64.58
要管理債権	3,780	1,671	297	1,374	44.22
合計	25,112	16,249	12,737	3,511	64.70

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う取引先のランクダウン等により、2021年3月末比28億8百万円増加の265億4百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2021年3月末比0.19ポイント上昇し2.99%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位: 百万円, %)

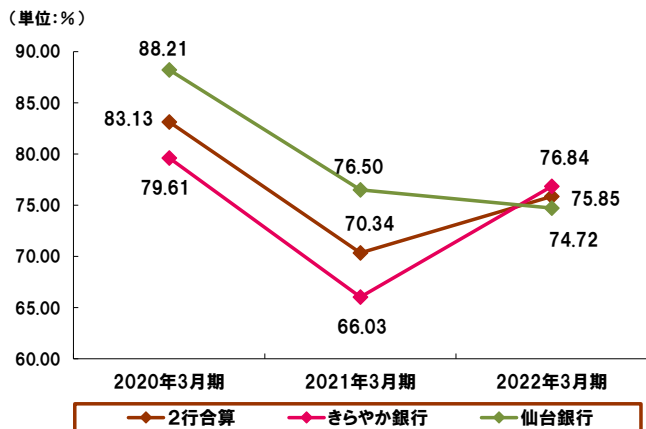
	2022年3月末	2021年3月末比	2021年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,619	610	1,008
危険債権	20,970	1,502	19,467
要管理債権	3,914	694	3,219
合計 (A)	26,504	2,808	23,695
正常債権	857,888	37,749	820,139
総与信額 (B)	884,392	40,557	843,835
(A / B)	2.99	0.19	2.80

②金融再生法開示債権の保全状況(2022年3月末) (単位: 百万円, %)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	賞倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,619	1,619	823	795	100.00
危険債権	20,970	20,283	16,599	3,683	96.72
要管理債権	3,914	1,939	1,862	77	49.55
合計	26,504	23,842	19,285	4,556	89.95

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、2021年3月期比5.51ポイント上昇し、75.85%となりました。



(単位:%)

		2022年3月期	2021年3月期比	2021年3月期
コアOHR	2行合算	75.85	5.51	70.34
	きらやか銀行	76.84	10.81	66.03
	仙台銀行	74.72	△ 1.78	76.50

9. 2023年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの2023年3月期の連結業績予想は、経常利益36億円、親会社株主に帰属する当期純利益25億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2022年3月期の期末配当金は、1株あたり10円を予定しております。また、2023年3月期の年間配当金は、1株あたり20円を予定しております。

(単位:百万円)

	2023年3月期	中間期	(参考) 2022年3月期 実績
	経常利益	3,600	2,000
親会社株主に帰属する当期純利益	2,500	1,300	2,585

基準日	中間	期末	年間
2023年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
(参考)2022年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益11億円、当期純利益7億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益27億円、当期純利益20億円を見込んでおります。

きらやか銀行

仙台銀行

(単位:百万円)

	2023年3月期	中間期	(参考) 2022年3月期 実績
	経常利益	1,100	1,000
当期純利益	700	600	1,078

(単位:百万円)

	2023年3月期	中間期	(参考) 2022年3月期 実績
	経常利益	2,700	1,100
当期純利益	2,000	800	1,506